

大津町議会文教厚生常任委員会と大津町体育協会との

意見交換会 会議録

1. 日 時 令和3年6月9日（水）午後3時40分
2. 場 所 大津町役場仮庁舎 2階 大会議室
3. 出席者 (大津町議会側) 6人
委員会 豊瀬委員長 山本副委員長 三宮委員 大塚委員 田代委員
議会事務局 大塚次長

(大津町体育協会側) 1人
後藤事務局長

(町執行部) 4人
矢野健康福祉部長、羽熊教育部長、(生涯学習課) 荒牧課長、今村係長

4. 議題 ① 大津町体育協会の取り組みについて（後藤事務局長）
- ・ 体育協会の体制：斎藤寧秀会長、副会長2名、顧問1名、理事長1名、副理事長1名、理事20名、事務局長1名、評議員10名、監事2名
 - ・ 現在の加盟団体、22団体（競技/レクリエーションナブル）。
 - ・ 県内全市町村に体育協会があるが、元々国の施策として行政主導型で作られているため、現在も行政職員が体育協会の事務局をしているところが多い。大津町では、約30年前から民間主導型に移行し、近隣では菊陽町、菊池市でも大津町を倣って独立した運営を行っている。
 - ・ 平成23年改正のスポーツ基本法では、行政とスポーツ団体が相互に連携を図り協働しなければならないとされた。大津町では約30年前からスポーツ団体との協働による取り組みを行っている。
 - ・ スポーツ実施率（国の目標：65%）の向上に向けて、一人でも多くの方がスポーツに親しめるよう、町と連携し各種教室の開催などに取り組んでいる。
 - ・ 町内スポーツ団体（NPO法人クラブおおづ、町婦人スポーツ連絡協議会、町スポーツ推進委員会）と連携し、子どもたちに夢と感動を与えるため、講演会やスポーツ教室を企画するなど、スポーツ団体相互の連携も充実している。
 - ・ つつじ祭り大会、スポーツ教室開催、郡体県体派遣、加盟協会育成のための費用として、町からの補助金269万円（令和3年度予算）を有効活用。
 - ・ 令和3年度重点目標「新型コロナウイルス感染症に負けない加盟団体の組織強化」
 - ・ 1年間の活動実績を経て、R3からダンススポーツ協会が加入、来年はボーリング協会の加盟も見込まれている。

5. 議題 ② 意見交換

委員：様々な活動をする中で、町からの補助金は十分な額と考えるか。

体協：町からの補助金は事業費に充てさせていただいているが、現在はコロナ禍で大きな事

業を行えていない。県内どこの体育協会も加盟団体は減少傾向にある中、大津町では新規加入があり、とても元気な団体であると言える。感染症の状況が落ち着けば、これまで以上に活発な活動が見込まれるため、必要に応じて担当課に相談させていただきたいが、自分たちで頑張れるところは頑張りたい。

委員：元気なシニア世代が増えれば、医療費の削減等につながる。体育協会としてもスポーツ指導などを通して健康で長生きできる町民を増やすことを目指し、町との連携をお願いしたい。

体協：町内スポーツ団体の相互連携として、例えば体育協会からクラブおおづに指導者を派遣し、参加者が競技に挑戦したいとなった時に、体育協会に入ってもらい、というような流れもある。福祉の面でもクラブおおづが町から委託をいただいて頑張っており、町民の方から良い意見をいただいている。学童スポーツクラブも参加者は増加傾向にあり、楽しんでもらっている。それぞれの団体で目的や対象者が異なり、各分野で活動することが、団体にとっても町にとってもプラスになると思う。
大津町は施設も良いが、ソフト面も良い、連携もできている、ということをもっと知っていただけるようPRしていきたい。

委員：近隣と比べて、運動をしたい人にとっての選択肢が多いのか。

体協：多いと思う。体育協会は特に武道系が充実している。初心者を対象とした教室も開催しており、様々なレベルの人に対応できている。

委員：加盟団体からの要望などはあるか。

体協：施設整備の要望などがあるが、必ず年7回の理事会で情報共有をし、話し合いで優先順位を決めるようにしている。

委員：指導される方もボランティアか。

体協：活動もイベントへの協力もボランティアだが、今後は有償ボランティアの検討も必要かと考えている。

委員：将来的には考える必要があるだろう。

体協：様々な団体があるため、どのように進めるかの課題はある。

委員：転入して来られた方が運動をしたい時、どこに尋ねたらよいか分かりにくいと聞く。

執行部：そういった声を受け、町内のスポーツ団体等の情報をホームページなどで広くお知らせできるよう検討している。役場が窓口となり、各団体に繋いでいきたい。

委員：それぞれの立場から、様々な手段を活用した情報発信に取り組むことで更に活動が広がると思う。

委員：令和3年度の目標に、ジュニア育成から大人までの一貫指導体制の確立とある。例えば大津高校のサッカー部には大津出身の生徒が少ないことはどう思われるか。

体協：サッカーに限らず様々な分野で見られることであり、理由も色々と考えられる。各団体でのスポーツの経験が将来に繋がるよう、各種教室の開催や指導力の向上に取り組んでいきたい。

委員：町民が健康で活気のある町であるためには、スポーツの推進が必要不可欠であると思う。体育協会はその一役を担っていただいていることが分かった。今後も活発な活動を期待したい。